

附中だより

令和3年10月22日

文責 附属中学校 保坂 伸

第51回桐龍祭開催（体育祭）

～桐龍祭テーマ「熱結(ねっけつ)」～

9月20日(月)今年度の学園祭、桐龍祭体育部門が開催されました。学園祭は9/10,11に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のための活動禁止措置や臨時休業等により、延期となっていました。今年の学園祭はテーマを「熱結(ねっけつ)」とし、夏休み前から生徒会本部が中心となって内容を練り上げ、準備を進めてきました。開催延期になっただけでなく、活動にも多くの制限がかかっている状況下でした。種目や実施方法など、多くの事項を決め直し、練習もほとんどできず、運営は非常に厳しい状況でしたが、新たに計画された予定を滞りなく推進した生徒会本部、それを支えた生徒のみなさんを称えたいと思います。当日は晴天の下、各競技に力を尽くしていました。なお、文化部門は11/8の合唱コンクール開催予定日に実施することとなりました。



開催延期になっただけでなく、活動にも多くの制限がかかっている状況下でした。種目や実施方法など、多くの事項を決め直し、練習もほとんどできず、運営は非常に厳しい状況でしたが、新たに計画された予定を滞りなく推進した生徒会本部、それを支えた生徒のみなさんを称えたいと思います。当日は晴天の下、各競技に力を尽くしていました。なお、文化部門は11/8の合唱コンクール開催予定日に実施することとなりました。



ノーベル生理学・医学賞受賞(2015)

おおむら さとし

大村 智博士 来校～キャリア教育講演会～

9月29日(水)山梨県韮崎市ご出身で、2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智博士が本校のキャリア教育講演会講師としてお越しください、生徒の皆さんに向け校長室からオンラインでご講演をいただきました。



大村先生は山梨大学のご出身でもあり、学生の頃のお話など大いに参考になりました。生徒からは先生の次の言葉に感激したという感想が寄せられていました。「若い頃は失敗があるが反省して繰り返さなければそれは宝になる。失敗を恐れてはいけない」「レベルの高い集団に飛び込んでみるのが



大切。少し背伸びをしてそこに見合う力を付けられるよう努力すればいい。まず努力をしてみないことには始まらない」附属中は才能豊かな生徒が集まる学校で、その中でどう自分を生かせるかとの迷いが払しょくされたという生徒がいました。後日大村先生から、お手紙があり「大勢の生徒さん達が校舎の窓から拍手で歓迎してくださり、大変感激致しました。生徒のみなさんの顔を見ながら講演できなかったのは残念ですが、私がお伝えしたかったことを理解してくださり、少しでもお役に立つことができたとすれば、望外の喜びです」とのお言葉をいただきました。先生のお言葉を胸に今後も質の高い教育活動を進めて参りたいと思います。

大切。少し背伸びをしてそこに見合う力を付けられるよう努力すればいい。まず努力をしてみないことには始まらない」附属中は才能豊かな生徒が集まる学校で、その中でどう自分を生かせるかとの迷いが払しょくされたという生徒がいました。

後日大村先生から、お手紙があり「大勢の生徒さん達が校舎の窓から拍手で歓迎してくださり、大変感激致しました。生徒のみなさんの顔を見ながら講演できなかったのは残念ですが、私がお伝えしたかったことを理解してくださり、少しでもお役に立つことができたとすれば、望外の喜びです」とのお言葉をいただきました。先生のお言葉を胸に今後とも質の高い教育活動を進めて参りたいと思います。

3年修学旅行(若桐のつどい)実施

10月6日(水)度重なる変更のうえ残念ながら方面を長野方面に変え、宿泊も断念した3年生の修学旅行を日帰りで行いました。



国宝善光寺、真田一族が領主を務めた松代藩ゆかりの史跡類、松代大本営跡洞窟等の見学等を行いました。



昼食はホテルのカレーでしたが、コースメニューになってとてもおいしくいただきました。6杯お替りする人がいてびっくりしました。京都奈良の旅行中止は残念でしたが、さまざまな

場所の見学を安全に楽しめたと思います。



芸術鑑賞教室演劇集団「風」公演実施

～「孤独から愛へTouch」～文化庁支援事業

10月14日(木)本校体育館を使って40年前のアメリカを舞台にして孤独を抱えながら生きた若者の物語でした。

プロの役者の方々の迫力に触れることができ、生徒のみなさんもいろいろ感じたことがあったようです。公演終了後も舞台やセット、照明、放送設備などに触れることができ、興味関心が深まったようです。

※新人戦は紹介する内容が多いので次号で紹介します。